BLITZ INFORMATION

No. 2015-0118
2015/5/8
株式会社 ブリッツ

新商品のご案内

DAMPER ZZ-R

全長調整式・32 段減衰力調整機構を採用した車高調キット

幅広い調整により、走行性能と乗り心地を高次元でバランスさせ、
ストリートからサーキットまでさまざまな走行シーンに対応できます。

車　種 (Vehicle)	年　式 (Model Year)	型　式 (Model)	エンジン型式 (E/G Model)	コード No. (Code No.)	JAN コード (JAN Code)
ALPHARD	15/01-	AGH30W	2AR-FE	92342	4959094923428
		GGH30W	2GR-FE		
VELLFIRE	15/01-	AGH30W	2AR-FE		
		GGH30W	2GR-FE		

フロント:-35mm ダウン / リア:-40 ㎜ダウン

商品仕様		
	フロント	リ　ア
減衰力調整	32 段調整	32 段調整
全長調整	○	○
ショックアブソーバー構成	コイルオーバー	別体式
正立式 or 倒立式	正立式	正立式
アッパーマウント	強化ゴム	強化ゴム
バネレート kgf/mm	6.0	9.5
スプリング自由長 mm	220	200
スプリングタイプ※	ST	BS
車高調整範囲 mm	-80～0	-65～-20
備　　考	サイドリフトアップシート装着車未確認 リア減衰ダイヤルはホイールハウス内	

※スプリングタイプは、「ST:ID62 ストレートスプリング」、「BS:樽型 or テーパー型 専用形状スプリング」をあらわしております。

※車高調整範囲は車両個体差、装備により数値が上下することがあります。

発売日:5 月 14 日(木)

【お問い合わせ】BLITZ Support Center Phone:0422-60-2277 Fax:0422-60-0066

詳しくは、BLITZ POWER SITE をご覧ください。

http://www.blitz.co.jp/

BLITZ INFORMATION

確認車両データ

本製品は以下の車両で確認を行いました。
数値は弊社での実測値です。
車高はグレード・装着部品・個体差や測定誤差などにより下記データと異なる場合があります。
下図シート位置で合わせた場合でも、地面からフェンダーまでの測定値が異なる場合があります。
下記データはあくまでもセッティングの目安として参考にし、車高を調整してください。

確認車両データ		
車名/型式/グレード	VELLFIRE / AGH30W / 2.5Z Aエディション	
	フロント	リア
車 重(kg)	1090	910
レバー比	1.0	ショック:0.9 スプリング:1.1
タイヤサイズ	235/50 R18	235/50 R18
ホイールサイズ	18インチ × 7.5J INSET 45	18インチ × 7.5J INSET 45
	スプリングデータ	
スプリングバネレート(kgf/mm)	6.0	9.5
スプリング自由長(mm)	220	200
スプリング内径 ()は外径	φ62	φ86.5 -(φ120)- φ78.5
	アライメントデータ	
トー (純正値)	+0° 02'(1.0 ± 2.0mm)	+0° 09'(3.0 ± 2.0mm)
キャンバー (純正値)	-1° 13'(-0° 15' ± 0° 45')	-2° 01'(-0° 45' ± 0° 45')
キャスター (純正値)	6° 14'(5° 55' ± 0° 45')	-
	車高データ	
地面～フェンダー(mm)	708	710
純正からのダウン量(mm)	-35	-40
車高調整範囲(mm)	-80 ～ 0	-65 ～ -20
	減衰力データ	
開発時減衰力	16段	12段
減衰力・車高セットについて	ノーマルの乗り心地の良さを崩さないようにしながら、ロール感を抑え安定性を上げるような減衰力セットにしております。開発時減衰力よりも柔らかく(段数を上げる)することで細かな段差をこえるときの入力を抑え2列目、3列目の乗り心地は向上いたします。高速など車速の高い走行が多い場合などは減衰力を硬めに(段数を下げる)すると大きなギャップでのピッチング(縦揺れ)を抑えることができ安定性が上がります。特にリアの減衰力を変えることで車両の動き、乗り心地など変化を感じられると思います。 車高について、確認車両データのダウン量であれば7人または8人乗車でもストロークを確保でき乗り心地を確保できますが、リア車高を純正より**-55mm以上**下げるとリア純正バンプラバーがストローク時に接触し突き上げ感が増して、乗り心地の悪化につながりますのでご注意ください。	

■取り付け注意事項

●リア減衰力調整ダイヤルがホイールハウス内ショック上部に配置されるため、減衰力調整には
ホイール取り外しが必要な場合があります。

■特記事項

●車高を下げることでロールを抑えてコーナリング性能を向上させることができます。

●タイヤとフェンダーとの隙間を埋めることで、よりスタイリッシュなフォルムを実現します。

●2 列目、3 列目で感じられる細かな突き上げ感を軽減され、快適性を向上させました。

【お問い合わせ】BLITZ Support Center Phone:0422-60-2277 Fax:0422-60-0066
詳しくは、BLITZ POWER SITE をご覧ください。
http://www.blitz.co.jp/